

令和5年度 第2回 政策決定会議 会議録

-
- ◆開催日時：令和5年5月29日（月） 15：30～16：00
 - ◆開催場所：市長公室
 - ◆出席委員：永野市長、堤副市長、大下教育長
 - ◆説明者：西川総合政策部長、田中企画課長、大山分権担当主幹、勝元主査、森田主任
-

◆審議事項

令和6年度国家及び大阪府予算に対する要望について・・・・・・・・・・企画課⇒承認

◆審議概要

◎説明者から、案件及び政策調整会議における議論の内容を説明し、政策調整会議にて、本件原案のとおり承認された旨、報告。

◎報告後、質疑応答

〈堤副市長〉1点目は市長会要望について。府内各市の共通事項は今回の要望事項にはなっていないが、市長会で要望する共通事項として、地方交付税の国税財源の法定率の引き上げや大阪万博を契機とした市町村の活性化等の要望も予定している。財政状況が厳しい本市としては、市長会任せにするのではなく、積極的に注視しておいてほしい。

2点目は木材コンビナートとスポーツドーム跡地等の整備について。「将来ビジョン・岸和田」において、地域連携軸で山から海までをつなぎ、交流・活動の発展を推進することとしており、木材コンビナートとスポーツドーム跡地等の整備は、ゆめみヶ丘などの山側と対になる海側の拠点になるので、ぜひとも力を入れてほしい。「木材港地区」は、「経済成長を促す産業拠点・集積エリア」として「大阪のまちづくりグランドデザイン」にも位置付けられている。ここ数年、大阪府に強く働きかけてきた結果、位置付けられたもの。大阪府議会もバックアップしてくれているので、これを機会に強く推して行ってほしい。巨大インフラなので、事業として数十年かかることは当然だが、これから、北陸新幹線の新大阪までの延伸に動きがあれば数少ない土砂の引き取り先として具体的に動き出す可能性がある。スポーツドーム跡地とアクアパークについても、港湾法の一部改正があったので、民間と連携し、新たな展開ができるよう大阪港湾局に強く求めてほしい。

3点目は泉州山手線について。沿道のまちづくりも進み、土地区画整理組合の設立準備という新たな段階に入った。このため今年度は国から本市に人を派遣してもらっていることもあり、ぜひとも強く要望して行ってほしい。

4点目は岸之浦大橋の4車線化について。今回、切り口を変え、物流ではなく、災害対策の充実の観点から要望することになっている。全国的に地震が頻発している昨今、いつ来てもおかしくない状況。耐震岸壁も含め、災害対策としての4車線化を大阪港湾局に強く申し入れてほしい。

5点目は田治米畑町線について。現在までのところ予算は順調に確保されている。現

在、国も大阪府も財源があるので、引き続きどんどん確保して行ってほしい。岸和田市はインフラが弱い、これは重要な道路のひとつなのでぜひとも力を入れてほしい。

〈教 育 長〉大阪府が既に計画に定めているもの等については、早急に対応するよう要望していくことが大事。大阪府が責任を持って進めていくようしっかり要求していくこと。蜻蛉池公園の未認可エリアの整備については、推進を強調していくこと。

〈市 長〉要望はしても進捗しないというのは良くないので、少しずつでも前向きに進捗していくようアピールしていきたい。特別職の助言も受けつつ進めてもらいたい。蜻蛉池公園については難しいかもしれないが、強くアピールし続け、このまま整備されない事態を避けるようにすること。大阪府への要望にあたっては、市議会議員を同席させていることもある。府議会議員と市議会議員は面識もあり、キャッチボールにつながるのではないかと。

〈堤 副 市 長〉昨年は、自民党や公明党主催の要望の場に市議会議員も出席していた。

〈市 長〉いずれの会派も市議会議員も同席するよう声掛けをお願いしたい。

〈総合政策部長〉本案件について、原案のとおり承認してよろしいか。

【異議なし】

⇒本件を原案のとおり承認する。

令和5年5月 22 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 総合政策部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	令和6年度国家及び大阪府予算に対する要望について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	令和6年度の予算編成に向け、国家及び大阪府に対し、本市独自の重要課題について要望活動を行うにあたり、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第3条第9号(国、大阪府等に対する要望、意見等に関する事項)に基づき付議するものです。
説明者	田中企画課長 大山分権担当主幹 勝元主査 森田主任
付議事項の概要	様式別紙に記載

別紙

付議会議	令和5年度 第2回会議
付議事項	令和6年度国家及び大阪府予算に対する要望について

★取組の目的

対象	国及び大阪府
どのような状態を目指す	国及び大阪府の予算に対する本市の要望を的確に各大阪府議会議員団に伝え、要望内容が可能な限り実現されることで、本市の施策・事業の推進と市民生活の向上をめざす。

★総合計画上の位置付け

6020202	基本目標	みんなで作る持続可能なまち
↑ここにコードを入力 (コードは「将来ビジョン・岸和田(体系)」シートを参照)	個別目標	持続可能で信頼される行政になっている
	個別目標の方向性	② 適正で効率的かつ効果的な業務の実施を進める
	行政の役割	広域的視点をもって、時代に応じた施策を積極的に推進する

★現状と課題

<現状>
国及び大阪府の厳しい財政状況により、国及び大阪府から本市への補助金の減少が懸念されるほか、本市における大阪府の各種整備事業が進んでいない状況にある。

<課題>
国及び大阪府からの補助金の減少は、本市事業の推進の遅延原因となり、大阪府の本市における各種整備事業の遅延は、市民の住環境等に大きく影響を及ぼすため、継続して国及び大阪府に要望する必要がある。なお、要望事項については、本市独自の課題に精査している。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項	決算(見込額)		予算額	見込額					
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
財源内訳	国費								
	府費								
	起債								
	一般財源								
	その他								
事業費	計			R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
				0	0	0	0	0	

★当該事項に関連する人員増の必要性*

人員増の必要性			R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
有	無						

★取組の効果を表す指標

指標名	単位	R3年度	R4年度	R5年度	目標値				
					R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
①									
②									

※事業費及び人員を確約するものではない。